

安土町地域自治区長たより

No. 41 平成 24(2012)年 10 月 1 日(月)
発行 安土町地域自治区事務所
(安土町総合支所)

<市長、安土の職員と語り合う>

8月22日(水)、総合支所で、市長と安土の職員とが、合併後の状況について語り合いました。



<第26回地域協議会開催>

8月22日(水)、定例協議会が開催。安土駅周辺整備と通園バスについて関係課から説明を受けました。



▲安土駅基本設計の説明を受ける

<自主防災訓練の事前研修会>



<安土・老蘇地域の自主防災訓練>

9月2日(日)7:00から地震を想定した防災訓練が開催。40自治会、約3000人が各自治会の第一次訓練に参加されました。社協担当委員によって安否確認の報告訓練(302名の確認)もありました。



▲各自治会の訓練の様子



▲総合支所での報告と安否確認

<安土地域の納涼祭：フェスタ常の浜>

9月2日(日)、常楽寺の浜で開催され、多くの方々が歌や劇、盆踊りを楽しみました。



<豊かな杜づくり隊の活動第一歩>

安土地域を中心として、ボランティア活動を発足させようそうと、「春の山菜」「夏の古墳探索」等に取り組んできました。今回は、里山道の整備をしようと下見に出かけ、12月1日(土)に「ウォーク」を計画。



▲ボランティアの方々の打ち合わせ



▲里山の下見の風景

<通園バスについて意見書提出>

地域協議会の大林会長と岡山副会長が、市長に「通園バスについて」の意見書を提出されました。



<安土学区まち協準備委員会>

幹事会が1週間に1～2回開催。



<小学校の運動会シーズン>

スポーツの秋。各校園で開催。



▲安土小学校の運動会

<老蘇学区まち協役員会と全体会>

8月31日(金)老蘇学区まち協では、自治会長と連絡会を開催され、まちづくり委員の推薦を依頼されました。9月15日(土)には、まちづくり委員88名の方々に委嘱され、第1回部会が開催されました。



▲自治会長との連絡会



「絵屏風の作成を視野にまちづくり」とを提案。年長の方々にアンケートをして、語り合い、昔の地域の物語や様子を絵にして残す事業。学区民全体が絵を描いて「総参加のまちづくり」の事業として企画。26年コミセン完成時にホールに展示の予定。



▲各委員に委嘱状が手渡される



▲6部会の様子

<VR 安土城創造会議開催>



▲安土城を感じるプロジェクト

<安土 B&G 海洋センター公開事業診断>



<視点>

・プレゼントに関する物語は「賢者の贈り物」（オー・ヘンリー作）が良い。そこでは、慎ましい生活をする若いデラとジムの思いやりがテーマになっている。時計を売って買った櫛、長い金髪を切って買った時計の鎖。このチグハクな贈り物の物語は忘れられない。そこには、「豊かさ」「思いやり」「幸福感」がある。デラが、愛するジムにプレゼントをするお金がないから、大事にしてきた長い髪を20ドルで売る決意をして得たお金は、「温かいお金」（貨幣）といえる。

・そんなことを思ったのは「冷たい貨幣・温かい貨幣」（内山節著『怯えの時代』）を読んだからである。著者は、「私たちの社会に出回っているお金は大半が『冷たいお金』、貨幣上の価値以外に何ものも付与されていないお金。ところが、あるおばあさんが孫の欲しがっていた物を買う。孫が喜ぶ顔やその後の楽しいひと時などを思い浮かべて代金を払う。つまり、お金では買えない価値がお金にのせられている。それを『温かいお金』と呼ぶ」とあった。

・今や、物が溢れ、お金さえあれば望むものは手に入る時代になっている。しかし、日々の生活費は、切り詰めなければならない。ローンや医療の支払い、生命保険や食事代や家賃など、払わなければならない「冷たいお金」に毎日囲まれて生活しているとも記されている。

・そこでこそ、氏は、人と人の関係の中で使用され、人と人の関係を幸せにする「温かいお金」の世界を取り戻したいと述べる。豊かさや幸せを図る尺度を「お金」に置きすぎて来たことに警鐘をならしている。今一度、かつての記憶を取り戻すことが大事だと書かれている。その記憶とはローカルな世界、ミクロな世界、人と人の「里」の世界、つながりと支え合いと書かれている。

・今の若者は記憶に無いだろうが、かつて給料は現金で封筒に入れられて手渡されたもの。その重さ(?)で、働いたとの感触があり、その日は帰りに家族に何かを買って帰り、ささやかな幸せの空気が流れたものである。まさに、金額ではなく、労働の対価としての「豊かさ」が思いだされる。

・秋深しの秋。「ススキ野に心も身をも委ねたし（波美子）」。ススキの花言葉は、「活力」と聞く。

・老蘇学区・安土学区では、今、自分たちのまちは、自分たちの手で作り上げ、子や孫にお金では買えない「豊かさ」「思いやり」と「幸せ」をプレゼントするための知恵を出し、ボランティアで汗を流していただいている。感謝

(K)